

令和6年度  
事業報告書

社会福祉法人 山王平成会

## 目次

法人本部	.....	1
ごしよの保育園	.....	6
かわしり保育園	.....	12
阿久和保育園	.....	19
西柴保育園	.....	27
上永谷西保育園	.....	32
阿久和キッズ	.....	38

# 令和6年度 法人本部 事業報告書

## 1. 評議員

評議員は次のとおり（敬称略）

安部 珠央、石川 素子、柴田 幸春、牧島 綾子、松田 拓郎、松橋 洋子  
丸山 美路、米村 徹

## 2. 理事・監事

理事・監事は次のとおり（敬称略）

- ・理事長 長谷川 貴勇
- ・副理事長 加賀屋 寛子
- ・理事 中川 實、有田 正司、富樫 富士子、松田 悦朗
- ・監事 田口 昭一、高橋 真一

## 3. 評議員会の開催

- ・第1回 令和6年6月30日(日)
  - 第1号議案 令和5年度計算書類等並びに財産目録承認の件
  - 第2号議案 令和6年度事業計画承認の件
  - 第3号議案 定款変更の件（登録資産変更）

## 4. 理事会の開催

- ・第1回 令和6年6月5日(水)
  - 第1号議案 令和5年度事業報告の件
  - 第2号議案 令和5年度計算書類等並びに財産目録の件
  - 第3号議案 令和6年度評議員会開催の件
- ・第2回 令和7年2月21日(金)
  - 第1号議案 令和6年度補正予算（案）
  - 第2号議案 各種規程改定の件

- ・第3回 令和7年3月25日(火)
  - 第1号議案 令和7年度事業計画(案)
  - 第2号議案 令和7年度予算(案)
  - 第3号議案 令和7年度積立金取崩の件

## 5. 重点施策

### (1) ネクストステージに向けた取り組み

#### 1) 理念経営の浸透

職員会議の開始直後に職員間で法人理念、保育理念の読み合わせ、人事評価制度説明会(質疑応答説明会も含む)などを通して周知徹底、そして各理念についての想い、意図について説明をしてきた。

法人理念に則りお互いの価値観、考え方を尊重し各種会議や業務改善プロジェクトなどを通し納得いくまで十分に話し合うことで仕事に対する主体性が養われる。

理念経営の本質は、職員が法人理念、保育理念に共感しチーム一丸となり保育運営を担っていくことで、確実に子どもの最善の利益につながる点にある。

今後も職員との丁寧な対話を大事にし、お互いを尊重し感謝し合える関係性の中で誰もがやりがいを実感できる楽しい職場を目指す。

#### 2) 人事評価制度導入に向けた説明会の実施

法人本部と6つの姉妹園の合計7拠点の職員全員を対象に、人事評価制度説明会(体系的に人財育成する仕組み)とそれに対する質疑応答説明会を2回に分け実施した。令和7年度の新規採用職員については、5月下旬までには周知徹底を図る方向で計画している。

人事評価制度は“法人の発展”と“自己実現”を効果的に結びつける重要な制度(仕組み)として位置付けている。導入する主な目的は人財育成にある。

法人(組織)とは、個々の人財が集結し形成されたものであり、その各職員の“自己実現”が各園の発展につながり、各園の発展が“法人の発展”につながる。

“法人の発展”がもたらす効果としては、充実した保育環境、自己成長が可能な職場環境の構築、的確な保護者支援が可能な職員体制、広がりある地域共生社会への取り組み、処遇改善など多方面にわたりタイムリーに実現できる。

一方で、子どもたちだけでなく各職員が“自己実現”することで自己肯定感が向上する。その結果、やりがいを感じ楽しい、この仲間と共に仕事ができ嬉しい、感謝し合える職員間の関係性が気持ち良いなどといった5つの基本的欲求が満たされ、人生の幸せ、充足感ある人間関係が築かれる。

保育の質を向上するには人事評価制度の運用は効果的ではあるが、また同時に主体的に成長したいと思える、またやりがいを感じることができる職場環境を職員自身が主役となり作り上げていく意欲、行動力も重要になってくる。

途中で立ち止まることがないように、法人本部も見守りながら全面的に支援していく。

### 3) 教育機会の充実化

法人主催の研修会(人財育成)と地域共生社会の実現に向けた取り組み

- ① 人事評価研修会(1回/年:3回受講で1セット)
- ② コミュニケーション研修会(入門編2回、発展編4回、応用編2回)
- ③ メンタルヘルス研修会(1回/年)
- ④ 財務管理に関する勉強会(3回/年)
- ⑤ eラーニングの効果的な運用(随時:ノンコンタクトタイム確保に課題)
- ⑥ 木育ひろばの開催(2回/年)
- ⑦ うたと音を楽しむコンサート(2回/年)

#### <人財育成>

コミュニケーション研修会やメンタルヘルス研修会は、研修時の職員間の雰囲気、研修会後のアンケート結果のご意見、受講者から直接聞こえてくる声などをもとに検証した結果、意義ある研修会であると判断した。

それを受け令和7年度より秋田地区の各保育園にも、コミュニケーション研修会とメンタルヘルス研修会を水平展開する方針を固めた。

eラーニングについては、先行して横浜地区保育園で実証試験してみたが、ノンコンタクトタイムの確保について課題が残った。

課題解決するため、令和7年度は下記施策を取り入れる。

- ・令和7年度から外部講師を招き姉妹園合同で新たに現場課題解決研修会を開催し、ゼロベースの視点や考え方などを学びスキル向上を図る。その学びをきっかけとし、職員の発想の転換を促し解決策を探る。
- ・業務改善プロジェクトや各種会議を通し業務効率化、職員体制の見直しを図る。

ノンコンタクトタイムを確保するには、ある程度の人員体制を整えることも必要であるが、加えて職員が主体的に考え、行動する自助努力も求められる。

“人財育成”“環境整備”“職員の主体的な行動力”といった要素が効果的に相互作用して初めて、ノンコンタクトタイムの確保が実現すると考えている。

#### <地域共生社会の実現に向けた取り組み>

木育ひろばは、西柴保育園に続き下記保育園にも順次水平展開していく。

- ・令和7年度:阿久和保育園、阿久和キッズ(姉妹園合同で開催)
- ・令和8年度:上永谷西保育園

但し木育ひろばを開催する前に、まず職員を対象に木育の概念、意義について理解を深めてもらうため、令和7年度4月に公益財団法人オイスカの川合講師による事前勉強を実施する方向で計画している。

阿久和保育園で行う“うたと音を楽しむコンサート”も地域共生社会の実現に向けた新たな取り組みの一つであり、プロの迫力ある歌(メゾソプラノ)、ヴァイオリン、ピアノの上質な音色を在園児、地域の子どもたち、保護者も招き開催した。大人向けの曲、子どもたちがコラボする曲もおりませ参加型のコンサート形式にしている。子どもたち、保護者の皆様にも非常に好評で、心が安らぐ場として今後も継続的に実施していく。

## (2) 加速化する少子化に対する各種打開策

### 1) 秋田地区保育園の持続的な運営に向けた財務改善と速やかな実行

秋田県は国内少子化ワーストの県であり、コロナ禍以降目に見えて出生数が大幅に減少し続けているのが、決して法人としてはネガティブには捉えてはいない。

この事実をまずはしっかり受け止め、その中で秋田地区の保育運営において、法人として取るべき行動、方向性を検討し明確にする有意義な1年となった。

#### ① 職員数の適正化

ごしょの保育園、かわしり保育園、両園で令和6年度末に職員退職が相次いだため、令和7年度の入園児数の絞り込みと並行して、人事異動、新規採用人数の見直しも含め職員の人員体制の再構築を図った。令和7年4月1日現在の職員数は例年より少ないが、この点は次年度の0歳児受け入れの園児数を今年度より9名(0歳児:21名→12名)減らしており、また同時に産育休中の職員復帰を見据えているため適正な判断だと考えている。

#### ② 保育業務の見直し

ごしょの保育園において令和6年度より業務改善プロジェクトを実施。職員から業務改善に関する要望などアンケートを行い、職員を巻き込みワークショップ、その後はチーフ会を通じて優先事項の高い項目について討議、対応を行った。令和7年度も継続して、討議と対応、そしてその後も職員間で問題意識を持ちながら業務改善していく姿勢、意識を深めていく。

#### ③ ごしょの保育園の定員削減に向けて

法人内であらゆる角度から検討を重ね、ごしょの保育園は令和9年4月に定員数を130名(目標:120名)とする方向性を示した。適正な職員数も試算しており、さらなる少子化が進む秋田市において現時点では最適な選択だと考えている。職員にもその旨を説明しており、選ばれる園に向けて継続的に創意工夫を職員一体となって推し進め、運営の適正化を図る所存である。

### 2) 横浜地区の園運営の安定化とかわしり保育園の大規模改修工事に向けた財政支援

横浜地区も少子化は確実に進行しているが、その中でも4園全て定員割れすることなく安定的に保育運営することができた。但し、3~5年先は大きく状況が変化する可能性も十分に考えられるため、その時に備えより充実した地域共生社会の取り組みにも注力し、保育理念の一つでもある地域と連携し必要とされる保育園を目指す。

また、令和6年度は職員採用が計画通り行うことができた1年でもあった。

障がい者の雇用に取り組み始めてから2年が経過したが、令和7年度より上永谷西保育園で新たに一人加わることが決定した。今後は、新規採用した職員の定着に向け職場全体でバックアップしていく。令和7年度も引き続き、阿久和保育園、西柴保育園でも各園1名ずつ障がい者雇用を目指し取り組む。

かわしり保育園の大規模改修工事に向けた取り組みについては下記の通りである。

① 財務管理の企画検討及び、② プロジェクト完遂に向けた工程管理の企画支援

上記の①と②の2つの内容に関しては、過去の実績（西柴保育園、上永谷西保育園の園舎建替え）を踏まえ経験、知識をもとに、企画検討や工程管理のポイントをかわしり保育園の園長、主任、事務長を中心に綿密な情報交換、打合せを行った。これら情報をもとに、秋田市への大規模修繕工事に関する申請書類の作成及び申請、秋田市役所との面接試験(理事長、園長、主任、設計事務所)も滞りなく行い、結果として大規模修繕工事の補助金(約 182,000 千円)を獲得できた。

③ 横浜地区における各園の財務状況

横浜市独自の助成金の増額などもあり、かわしり保育園の大規模改修工事に必要となる財務管理の支援として、最終的に 39,000 千円の拠点間移動を行った。この点については大きく貢献ができたと考えている。令和 7 年度についても各園の予算管理を徹底し、引き続きかわしり保育園の大規模改修工事に向けた資金確保を行っていく。

最後に、令和 9 年度の大規模改修工事が完工したかわしり保育園の保育運営は、少子化に左右されない筋肉質な財務体質と、より充実した保育・食育が展開されることは間違いのない先行き明るい楽しみなプロジェクトである。

6. 職員内訳

(令和 7 年 3 月 31 日時点)

	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
法人本部	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	3 名	0 名	3 名
ごしよの保育園	1 名	32 名	2 名	4 名	2 名	3 名	2 名	46 名
かわしり保育園	1 名	18 名	1 名	2 名	1 名	1 名	1 名	25 名
阿久和保育園	1 名	18 名	5 名	2 名	2 名	2 名	1 名	31 名
西柴保育園	1 名	18 名	3 名	1 名	3 名	1 名	1 名	28 名
上永谷西保育園	1 名	24 名	2 名	4 名	0 名	1 名	1 名	33 名
阿久和キッズ	1 名	9 名	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名	12 名
合計	6 名	119 名	13 名	14 名	9 名	11 名	6 名	178 名

7. 児童数の状況

	定員数	児童数(月平均)
ごしよの保育園	160 名	144 名/月
かわしり保育園	60 名	56 名/月
阿久和保育園	80 名	82 名/月
西柴保育園	60 名	72 名/月
上永谷西保育園	80 名	82 名/月
阿久和キッズ	19 名	19 名/月
法人合計	459 名	—

以上

# 令和6年度 ごしよの保育園 事業報告書

## 1. 事業内容

- ・保育事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・地域子育て支援事業
- ・病児保育（体調不良児対応型）事業 ・障害児保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

・感染症への過度な恐れが薄れてきて地域の活動が活発となり、地域団体や高齢者施設、小・中・高校等との交流もコロナ禍以前の姿に戻りつつあるのを実感している。新型コロナの勢いがおさまりつつある中、これまで抑えられてきた他の様々な感染症が流行の兆しを見せており、それらを含めた感染状況を見極めつつできる限り積極的に交流を進めてきた。地域に愛され、地域とともに子どもを育む保育園が戻りつつあるのを実感している。

・園内行事に関しても、運動会や発表会では来賓を招待するとともにご家族を人数制限なしにお招きをすることができた。発表会では、屋内施設での開催ということもあり、クラス発表ごとの入れ替え制にすることは継続して、感染防止にも配慮しながら努めながら開催したが、ご家族からは「人数制限がないことで両親だけでなく祖父母にも見てもらうことができてよかった。」「クラスごとの入れ替え制にさせていただいたおかげでゆっくり見ることができた。」などと大変喜んでもらうことができた。これからも、様々なご意見に耳を傾けながら、保護者や地域との交流・連携を進めていきたい。

・設備や備品に関しては、計画的な更新や修繕を進めるべく取り組んできたが、思った以上に経年劣化が進んでおり、予定外に緊急で対応しなければならない案件がかなり発生した。今年度も同じような状況が考えられるが、事務長とも連携を取りながら適宜適切に対応していきたい。

## 3. 重点施策

### (1) 子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る。

園行事や日々の保育の中で、子ども一人ひとりの思いに寄り添い、子どもたちができる限り自己決定をしながら活動できるように援助することを意識して取り組んできた一年であった。特に、運動会や発表会においては、演目の随所に子どもたち自身の思いが生かされ、自分たちで作り上げる喜びを実感することができた。子どもたちの主体性は着実に育まれていると感じている。

### (2) 地域とのかかわりを大切にした保育を展開する。

感染症への過度な警戒感が薄れてきており、保育園を取り巻く地域の活動意欲が高まってきている。そのため、地域とのかかわりをもつ機会が増えてきている。近隣の幼稚園や小学校、中学校、高齢者施設や養護施設、地域団体と様々な交流を重ねるたびに、「地域の方々に見守られている、支えられている、愛されている。」と実感することができ、自己有用感や自己肯定感を高める良い機会となった。これからも積極的に地域とのかかわりを求め、地域とともに歩む園運営を進めていきたい。

(3) 業務改善を進め、よりよい職場環境づくりを進める。

職員が未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えることに誇りを持ち、やりがいを感じながら働くことができるように業務改善を進めてきた。その中でも、お便りの紙ベースでの配布をやめておが〜るシステムでの配信にしたこと、集金業務を口座引き落としにしたことは、大きな改善であった。また、長谷川理事長のお力をお借りしながら1年を通して業務改善についての話し合いを行ったことは、職員の意識を変えていくきっかけとなった。来年度は、考えた方策を着実に実行する一年にしていきたい。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設設備	新館エアコン室外機移設 本館保育室エアコン入替	1,430,000 円	6 月
施設整備	園庭日よけネット設置	62,000 円	6 月
施設整備	トイレ鍵他各所修繕	233,200 円	1 1 月
施設整備	厨房エアコン入替	858,000 円	1 1 月
施設整備	物置小屋交換	316,151 円	1 1 月
備品購入	非常用ポータブル電源	135,000 円	3 月

未実施項目	件名	金額（単位：円）	未実施の理由（背景）
備品購入	避難車	200,000 円	現有避難車修繕で対応

5. 部門別保育年度達成状況

(1) 乳児保育部門

**0 歳児**

- ・保育者の愛情のもと一人ひとりの生理的欲求が満たされ、安定した生活ができた。

**1 歳児**

- ・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち、関わりを広げることができた。
- ・身の周りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちをもつようになった。
- ・食物アレルギーをもつ子等に対し安全に生活できるように配慮することができた。

**2 歳児**

- ・保育者の見守りや励ましのもとで、自分でやろうとする気持ちをもって物事に取り組み、様々な経験を積む事で基本的な身の周りのことが身に付くようになってきた。
- ・様々な運動遊びに取り組む事で、基本的な運動能力を伸ばし、自ら体を動かすことを楽しんでできるようになってきた。

## (2) 幼児保育部門

### 3歳児

- ・遊びや生活の中で他者の存在に気づき、共に過ごすことの楽しさを感じたり、関係を深めたりすることができた。
- ・園生活の流れが分かり、身の回りのことを自ら行い、決まりを守って過ごせるようにした。

### 4歳児

- ・自分の健康に関心を持ち、身の周りを清潔にすることの心地よさに気付くことができた。
- ・様々なことに興味、関心を持ち、友達との関わりを楽しみながら、自分の思いを伝えたり相手の思いに気付いたりすることができた。

### 5歳児

- ・友達と相互に自分の考えを出し合ったり、心を通わせながら遊びを生み出したりしながら、目標に向かって力を発揮することができた。
- ・一人ひとりが主体性を持ち、遊びや社会生活において必要な事柄や態度を身に付けた。

## (3) 給食部門

- ・安全で安心な給食の提供に努めた。
- ・衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した給食作業の継続に努めた。
- ・年間食育計画の改善を進め、年齢の育ちに合わせた活動を進めることができた。
- ・食物アレルギー対応をしっかりと行い、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食と誤配膳の防止」を職員全体で徹底した。
- ・複数人いる栄養士の利点を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにした。
- ・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0歳児からの食事に関わり、安心感を与える支援を行えるようにした。

## (4) 子育て支援部門

### 保育所を利用している保護者に対する子育て支援

- ・保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じることができるよう、保護者のそれぞれの状況に配慮しつつ、良好な信頼関係を築きながら関わるよう努めた。
- ・子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者を支援するため、子育てを楽しむ方法の紹介に努めた。(食育、看護、子どもとの関わり方、親子で楽しめる遊び等)

### 地域の保護者等に対する子育て支援

- ・未就園児を対象として地域のシルバー交流センターで行っている子育て支援活動では、可能な限りの保育所保育の専門性を活かした子育て支援ができるよう努めた。  
(リズムあそび、ベビーマッサージ、親子で一緒に制作等)

## (5) 地域交流部門

### 近隣の中学校・高校との交流

- ・行事等を通しての交流に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受け入れを行った。また、相互の特性を理解、把握した上で、話し合いを行いながら、交流を図ってきた。
- ・リズムあそび発表会や避難訓練など、相手施設を活用しての活動にもたくさんの協力をいただいた。

### 地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

- ・国、県、市の様々な感染症発生状況を確認しながら、さつまいもの苗植えや収穫、ふれあい竿燈、移動動物園、餅つき会等、例年以上の頻度で積極的に交流を行った。

#### (6) 姉妹園交流部門（かわしり保育園）

- ・じゃがいもやさつまいもの苗植えや収穫、竿燈壮行会への参加等、行事を通しての交流を行うことができた。
- ・職員についても、必要に応じた意見交換、竿燈への職員の派遣、休日保育への職員派遣等の交流を進めることができた。

## 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

### (1) 定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員(人)	25	27	27	27	27	27	160

### (2) 全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	134	138	138	140	141	142	145	146	147	152	153	154	144

### (3) 職員数(令和7年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	19	0	4	0	1	1	26
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	1
非常勤職員	0	13	2	0	2	1	0	18
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	1
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計								46

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称 (実施した行事すべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)
4	1	辞令交付	すべての職員に辞令を手交した。
	8	交通安全教室	秋田東警察署による交通安全教室を行った。
	11	おおきくなったね、おめでとうの会	新入園児や在園児が入園、進級をお祝いした。
	18	じゃがいも苗植え	御山野楽校で5歳児の子どもたちが苗植えをした。
5	1	こいのぼり集会	子どもたちの健やかな成長をみんなでお祝いした。
	16	内科健診	全園児を対象に、園医による健診を行った。
	21	バスでおでかけ(3歳児)	3歳児が園バスで近隣の公園にお出かけした。
	25	サツマイモの苗植え	シルバーエリアの畑で4, 5歳児が実施した。
6	8	5歳児保育参観・クラス懇談会	保護者を迎えて保育参観後に懇談会を実施した。

	11	不審者対応訓練	職員を対象に、警察署員による訓練を実施した。
	14	年長児水泳教室	年長児が県立総合プールで水泳教室を行った。
	21	交通安全教室	秋田市交通指導員が5歳児を対象に実施した。
	28	アスレチッククラブ水泳教室	年中児がスイミングスクールで水泳教室を行った。
	29	普通救命講習	職員を対象に消防署員による救命講習を実施した。
7	3	歯科健診	全園児を対象に園歯科医による健診を実施した。
	4	水泳教室	5歳児がアスレチッククラブで水泳指導を受けた。
	5	七夕集会	短冊を竹に飾り、日本文化の良さに触れた。
	9	バスでおでかけ（4歳児）	公園に行き、遊具での遊びを楽しんだ。
	10～11	夏祭りごっこ	園児と職員全員で手作りのお祭りを楽しんだ。
	16	じゃがいも掘り	御山野楽校で5歳児がじゃがいも掘りを行った。
	19～20	お泊り保育	5歳児が、保育園に泊まって様々な体験を行った。
8	5	交流センターふれあい竿燈	高齢者の方々と一緒に竿燈の演技を楽しんだ。
	9	交流センター移動動物園	高齢者の方々と動物との触れ合いを楽しんだ。
	24	御所野地区夏まつり	5歳児が地域の方々に踊りを披露した。
9	14	運動会	小学校のグラウンドおよび体育館で実施した。
10	1	リズムあそび発表会	中学校の体育館を借用して以上児が発表した。
	8	遠足（3歳児）	大森山動物園を見学した。
	10	さつまいもほり（4歳児・5歳児）	シルバーエリアで、さつまいもほりを行った。
	17	内科健診	園医に、子どもたちの健康状態を診ていただいた。
	19	保育参観・懇談会（3歳児）	3歳児の保育を保護者に公開し、懇談会を行った。
	24	遠足（2歳児）	近隣の公園にバスでいき、楽しく遊んだ。
	26	保育参観・懇談会（4歳児）	4歳児の保育を保護者に公開し、懇談会を行った。
11	1	遠足（5歳児）	電車に乗ってアルヴェに行き、科学の体験をした。
	14	交通安全教室	市交通指導員が来て、4、5歳児に指導した。
	16	2歳児お楽しみ発表会・懇談会	日々の生活の中で学んだ成果を保護者に披露した。
	19	遠足（4歳児）	セリオンに行き、タワーからの景色を楽しんだ。
	30	1歳児お楽しみ発表会・懇談会	子どもの発表を見たり、親子で活動したりした。
12	14	3歳以上児発表会	3歳以上児が、クラスごとに学習の成果を発表した。
	24	クリスマス会	ホールで全員がクリスマスを楽しんだ。
1	7	新年を祝う会	新しい年を迎え、全員でお祝いをした。
	9	交流センター餅つき大会	4、5歳児が参加して、餅つきを楽しんだ。
	24	御所野小体験入学	5歳児が、小学校に行き、体験活動を行った。
	25	0歳児お楽しみ会・懇談会	親子一緒に様々な遊びを楽しんだ。
2	3	豆まき会	新聞紙のボールを使って豆まきを楽しんだ。
	7	御所野幼稚園雪まつり	幼稚園の招待を受け、雪まつりを一緒に楽しんだ。
	8	5歳児保育参観・懇談会	5歳児クラスの最後の保育参観・懇談会を行った。
	15	第三者苦情委員懇談会	第三者苦情委員の皆様から、ご意見をいただいた。
3	3	ひな祭り会	ひな人形を飾り、子どもたちの成長をお祝いした。
	8	卒園式	ごしよの保育園ホールにて卒園式を開催した。
	11	交通安全教室	5歳児の子どもたちが交通安全について学んだ。
	14	ばらくみさんありがとうの会	卒園児に、在園児が感謝の気持ちを伝えた。

## (2) 令和7年度に向けた検討事項

- 園行事及び園運営について、業務改善PJでの決定事項やこれまでの取り組みの意義、成果を踏まえて、常に「改善」の視点を忘れないように検討を続けていく。
- 各種行事の内容について吟味し、子どもたちの主体的な参加を促すという観点から、その手立てや方策について検討すること。
- 行事面においても職員1人ひとりの負担が増えることが予想されることから、働き方改革に結びつくための具体的な方策や手立てについても検討すること。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧（オンライン研修を含む）

月	日	研修名 (受講した研修すべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	13		秋田市保育士会総会	総会及び講演会
	16		秋田市施設長会	総会及び講演会
	26	園長等運営管理協議会		説明事項及び講演会
5	8		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	17	教頭・主任等研修会		講話及び分科会協議
	23	新規採用者研修		連絡事項の伝達及び意見交換
	24		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
6	7	中堅教諭等資質向上研修		講話及び分科会協議
	18	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	21		懸け橋プロジェクト研修	講話及びグループ協議
7	2	保育実践力習得研修		講話及び分科会協議
	4	中堅教諭等資質向上研修		講話及びグループ協議
	19	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	30		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
8	2	幼保小連携研修会		講話及び分科会協議
	6	中堅教諭等資質向上研修		講話及びグループ協議
	8		生活科研修会	講話及び分科会協議
	21		特別支援教育研修会	講話及び分科会協議
	27		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	29	園長等運営管理協議会		講話及びグループ協議
9	1	中堅教諭等資質向上研修		講話及びグループ協議
	24		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	26	新規採用者研修		講義・講話及び演習
10	3	保育実践力習得研修		講話及び分科会協議
	7	中堅教諭等資質向上研修		講話及び演習
	13	園内研修リーダー養成講座		講話及び分科会協議
	25		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	31		秋田市保育家研修会	講話及びグループ協議
11	1	教頭・主任等研修会		講話及び分科会協議
	6	中堅教諭等資質向上研修		講話及び講義・演習
	12	新規採用者研修		講話及び演習・グループ協議
	29	中堅教諭等資質向上研修	秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
12	3	新規採用者研修		講話及び演習・協議
	10		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
1	17		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	30		就学前教育理解推進研究協議会	実践発表及びグループ協議
2	26		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
3	26		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- 職員1人ひとりのキャリア形成を見据えた、キャリアアップ研修の計画的な受講を推進すること。
- 法人研修への積極的な参加と、姉妹園職員とのコミュニケーションを深められるような体制の構築。
- 園内研究に資する研修への職員の参加を検討すること。

以上

# 令和6年度 かわしり保育園 事業報告書

## 1. 事業内容

- ・保育事業　・一時預かり事業　・延長保育事業　・地域子育て支援事業
- ・障害児保育事業　・休日保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

・令和6年度の全園児数平均は56人、前年度の60人からは減少が著しい。県内他郡市よりはゆるやかとはいえるが少子化は確実に園児数に反映していると感じている。今年も山王地区という市内の中心部に位置していること、遊歩道を目の前にした恵まれた自然環境、保育園として唯一の秋田市竿燈への参加園など、特色をアピールしてきている。竿燈壮行会については新聞のコラムにも取り上げられた。今後も積極的にマスコミ媒体も活用し、園の魅力を発信していきたい。また、年度末での離職者が多かったが、子どもとともに、職員こそが人財と感じている。共に子どもを育てあげていく喜び、組織としての明確な志向、職員間の関係性、保育環境の充実など、あらためてみんなで作り上げていきたいと思っている。

・法人理念、保育理念、園目標、望む子どもの姿など、職員会議、行事、各種通信で取り上げ浸透を図ってきた。そして、子ども家庭庁で推進しているように、保育園・家庭・地域で子どもを真ん中にすえてさらに連携・協力を深めることを念頭に保育にあたってきた。「全職員で全園児を育てていく」という合い言葉を継続し、一人一人の子どもに寄り添うこと、保護者の視点からの見方も大切にすることなどを通し、「この保育園に子どもを預けたい」という信頼を関係づくりに今後も励みたい。

## 3. 重点施策

### (1) 園舎大規模改修の具現化

大規模改修計画については、法人・園・設計者等の連携のもと、大きく進んだ。地域保護者への説明会の開催、全保護者への改修計画概要の提示、行政からの補助金内示が得られたこと、冷暖房設備にかかわるユカリラ設置施設の視察など現実味を帯びた取組ができた。また、職員の声も集約し、保育室配置区割り・トイレや収納庫の仕様・備品や保育動線の考察など、実現を目指して検討を進めることができた。資金計画においては、理事長、両事務長がこまめにミーティングをもち、実現のために精査している。

## (2) ICTの活用と業務の効率化の推進

秋田地区では、保育業務支援システム「おがーるシステム」が導入されている。全園児保護者のスマホ登録と打刻管理、欠席・早退等の連絡で活用が進んだ。玄関セキュリティ強化による不審者対策、記録としての登降園の把握、メール機能での感染症等の連絡など活用頻度が増えた。次年度も秋田地区2園で同一システムを使っている良さを生かしながら、連絡帳や各種通信の配信など「おがーる」の活用の幅をさらに広げるよう、推進チームを中心に習熟と効果的な運用の検討を続けていく。また、PCを使った事務処理も増えていることから、次年度は台数を増やすことが必須と考えている。業務内容の見直しも継続していきたい。

## (3) 働きがいのある温かい職場づくり

勤務形態や職種にかかわらず、「全職員で全園児に関わり育てていく」を合い言葉にしてきた。また、今年度は一人ひとりがテーマを設定し個人研究に取り組む形で園内研修も進めた。これまでとは違う切り口での取組で戸惑いを感じたという声も聞かれたが、最終的には有益であったという感想が多数であった。子どもや親の多様性が増していく中で、どうチームとしての機能を高めていくのか、職員一人ひとりの強みや弱みをどのように共有し補完していくのか、考えさせられた1年でもあった。離職者防止も含めたコミュニケーションづくりも今後の課題である。次年度は大規模改修工事が本格的に着手される予定される中、多忙感が増すことが予想される。職員の協働性が高まるような温かい雰囲気・声かけと組織として一人ひとりがバックアップされているということが実感出来るような場を増やしていくことを心がけたい。

## 4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	大規模改修に伴う企画設計	1,925,000 円	10月
〃	大規模改修基本設計着手分	3,000,000 円	令和7年1月
〃	2歳児室ストーブ交換	185,000 円	修理不能のため 令和7年2月交換
備品購入	カメラ3台、SDカード	106,775 円	不足分の補充 令和7年1月

## 5. 部門別保育年度達成状況

### (1) 乳児保育部門

乳児：担任を中心に信頼関係をそれぞれ築く中で、一日を機嫌良く過ごせるようになる。安心した気持ちで園内を散策したり、好きなおもちゃ遊びをじっくりと楽しむ姿も見られるようになる。また、離乳食については体調不良でお休みすることが多かったりと、家庭との話し合いが難しい時もあったが、全員が完了し、スプーンを使ったり、器を持って食べるなど、それぞれ自ら食べようとする意欲が見られるようになる。

1 歳児 : 一人一人に寄り添い安心して過ごせるように努めた。様々な体験をする中で、他児への関心を広げ、遊びを楽しみ、よい刺激となって、言葉や運動面、身の回りのことなど、成長につながったと思う。

2 歳児 : 一人一人の自己主張をしっかりと受けとめながら、成長していけるように援助してきた。個人差はあるが、2 歳児らしい成長が見られたと思う。特に生活面では、全員が安定してパンツがはけたり、箸を自分から使おうとしたり、意欲的にやろうとする姿に繋がられたと思うのでよかった。

## (2) 幼児保育部門

3 歳児 : 年間を通してみて、身支度など自分のことは自分でしようとする姿が見られ、意欲的に取り組んでいた。個々でやるスピードが違うため、全体を見ながら、一人ひとりに声かけしていくようにした。また、遊びの中で、自分の主張を伝えるようになってきて、ささいなことで言い合いが多くあるため、仲介に入ったりも保育者も遊びに加わったりすることを心がけた。そして、当初は個々での遊びが多かったが、異年齢交流を繰り返すことで、集団として伸びてきたように思う。

4 歳児 : 園内や戸外で子どもの成長や発達にあった体の動かし方ができたと思う。身の回りのことに自分で取り組んだり、園内外での過ごし方なども日々の生活の中でその都度教えてきたりしてきたので、それぞれがその時に合った事や態度がわかるようになってきた。自分が分かっているだけでなく周りの友だちや自分よりも小さい子どもに知らせようとする姿も見られるようになった。相手の気持ちにも耳を傾けられるようになってきたので、もう少し今後はそれを受け入れられるようになってほしいと思う。

5 歳児 : 集団生活の中で、友だちとの関わりや目標に向かって頑張る姿など、いろいろなことを経験することができたと思う。自分の思いをもち、相手の気持ちを考えることは今後も必要なことなので大切にしたいと思う。卒園式やお別れ会の行事を通して、5 歳児としての自覚を持つことができたと思う。就学に向けての行事にも、期待をもって参加することができ、良い経験になった。

## (3) 給食部門

・食器や食具、形態など、子どもたちの状況や育ちに合わせながら保育者と話し合いながら進めることができた。また、子どもたちの興味関心に寄り添ったクッキングや食育活動ができた。

・年間を通して各クラスの成長を感じることも多くあった。進級に向けて食器、食具、食材の大きさなど変えたりなど各クラスと相談して進めていくことが出来た。また、3 月は年長児からのリクエストメニューを取り入れたり、パックの牛乳、小袋のジャムの練習などを通し、小学校給食への期待を持たせるような取組を実施することが出来た。

#### (4)地域交流部門

・園行事が子どもたちの成長につながるよう、行事の精選、活性化を図ってきている。地域を活用しての自然探索や買い物体験など、できるだけ様々な人との交流場面を大切にしてきた。人と関わることの良さを体感できるよう、発達段階に応じた設定を心がけた。また、2ヶ月にわたる毘沙門町竿燈会の指導、竿燈壮行会、職員や全園児での取組など、かわしり保育園の特色ある活動も、コロナ前の状況に復活してきた。

・秋田地区法人姉妹園であるごしょの保育園とは、御山野学校やシルバーエリアでの一緒に活動場面を設定した。自己紹介や関わり合う場面をもう少し増やそうとはしているが、給食時間に合わせて帰らなければならないことから十分な時間を設けることができなかった。ネットを介しての横浜地区との交流も考えてみたいと思っている。

#### (5)子育て支援部門

・園開放については、今年度入所予定の子どもやその友だち家庭への声かけ依頼を通じて多くの参加を見込むようにした。かわしり保育園の園開放日の周知を図るため、多くの地域諸施設にポスター掲示の依頼をし、事前申込制で実施した。また、園見学希望者については、できるだけ希望日時や園活動で見たい場面などに添うよう、丁寧に対応して入所につながるようにした。

・個人面談は計画通りに全員対象と希望制とで2回実施し、家庭や園での子どもの様子の情報交換が適切な時期にできた。送迎時等での保護者との情報の共有などを通して、家庭との連携を継続した。クラス保育参観・懇談会は、以上児と未満児クラスに分けて考えて、適切な時期に設定した。保護者間の情報交換、子どもの成長の見方・考え方や園の方針など周知する良い機会となった。

### 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

#### (1)定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員(人)	10	10	10	10	10	10	60

#### (2)全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	51	51	53	53	54	57	57	57	59	59	59	59	56

#### (3)職員数(令和7年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	13	0	2	0	1	0	17
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員	0	5	0	0	1	0	1	7
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	1	0	0	0	0	1
							合計	25

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称 (実施した行事はすべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)
4	5	大きくなったね！を祝う会	新入園児がいなかったため進級を祝う会の名称を変更
	18	じゃがいも植え	年長児が御山野楽校に行って、じゃがいも植えや、周辺の散策を楽しむ
5	2	端午の節句集会	
	16	内科健診	
	23	以上児クラス親子遠足	大森山動物園、ユースパルでのふれあい
	29	サツマイモ植え	年長児・年中児のサツマイモ植え体験
6	4	交通安全教室	以上児が交通ルールについて学習
	5	歯科検診	
	11	アスレでの水泳教室	年長児・年中児のプール教室
7	5	七夕集会	
	12	県立プールで水泳	年長児・年中児が県立プール体験
	16	アスレでの水泳教室	年長児・年中児のプール教室
	28	ジャガイモ掘り	年長児が御山野楽校でジャガイモ掘り
8	1	竿燈壮行会	本番前に、保護者や来賓の方々に竿燈演技を披露し、激励を受ける。
	3	竿燈祭り本番	竿燈祭り初日、年長園児・卒園児(小1)・職員で山王大通りにて、太鼓や竿燈演技を披露
	6~9	個人面談	
9	7	運動会	
	13	交通安全教室	以上児が交通ルールについて学習
	18	茶道教室	年長児の茶道体験
	19	アスレでの水泳教室	年長児・年中児のプール教室
	27・28	年長児お泊まり会	
10	2~	自由保育参観週間	
	4	サッカー教室	年長児・年中児のサッカー体験
	9	スポーツ教室	年長児対象のスポーツ教室
	10	サツマイモ掘り	シルバーエリアでサツマイモ収穫(年長・年中)
	17	内科健診	
	25	茶道教室	年長児の茶道体験
11	1	サッカー教室	ホールでの年長児・年中児のサッカー体験
	6	茶道教室	年長児の茶道体験
	7	クッキング教室	スイートポテト作りに挑戦
12	7	お楽しみ発表会	
	11~	個人面談週間	
	12	茶道教室	年長児の茶道体験
	24	クリスマス会	
1	7	新年を祝う会	
	8	茶道教室	年長児の茶道体験
	29	園外活動	以上児のお買い物体験、神社訪問

	30	交通安全教室	以上児の交通ルールの学習会
2	3	節分集会	豆まき
	4	川尻小体験入学会	年長児全員参加で川尻小1年生と交流
	6	茶道教室	年長児の茶道体験 おしるし授与
3	3	ひなまつり会	
	8	卒園式	
	12	茶道教室	年長児・年中児の茶道体験
	22	年長児お別れ遠足	卒園を記念しての映画鑑賞策、お楽しみ会食
	26	園内お別れ会	ぞうくみ園児を送る会を開催

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・新入職員を加えた秋田市竿燈祭り参加体制（毘沙門町竿燈会との連携等も含む）
- ・園内掲示物等の精査と準備担当計画の検討
- ・園外活動の充実（園バスの有効利用、体力作りの推進）

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧 ※はオンライン研修

月	日	研修名 (受講した研修はすべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	16		秋田市保育協議会総会	事業報告・事業計画
	26		園長等運営管理協議会Ⅰ	※教育・保育の充実に向けて
5	8		研究部会	
	16		主任保育士部会	
	17	教頭・主任等研修会Ⅰ		※保育業界の現状について 他
	23		園内研修	実技研修（救命救急等）
	20	秋田県保育士会研修会		※支援が必要な家庭への対応と里親について
	21		幹事会	
	23		保健部会	
	24		人事評価研修①	横浜での法人研修（面談の技法等）
24		施設長会	今年度予算、活動内容について	
6	7	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ		本県就学前教育・保育の目指すところ
	12		研究部会	
	13		幹事会	
	14		給食部会	
	19,25		園内研修	保健・嘔吐処理
	21		架け橋プログラム研修	※カリキュラム作成への取組と実践
	22		ミニ学習会	手作り玩具の作り方
	24	5年経験者研修Ⅰ		特別な配慮を必要とする子どもの理解と手立てについて
27		食物アレルギー研修	食物アレルギーアナフィラキシー発症時の対応	
7	3		園内研修	各テーマに基づく中間発表
	4	中堅教諭等資質向上研修Ⅱ		園における評価と開かれた園運営について
	9		園内研修担当者研修Ⅰ	計画の作成、進め方、役割等について
	10, 11		北海道東北ブロック保育研究大会	子ども家庭庁による行政説明、分科会他

	17		研究部会	
	24		主任保育士部会	支援が必要な子どもに必要な支援を考える
	25		保健部会	
8	5、6		人事評価説明会	法人人事評価についての学習
	6	中堅教諭等資質向上研修Ⅲ		児童虐待への対応 他
	7		秋田県保育協議会研修会	乳幼児保育の理解について
	22		秋田市保育研修会	障害のある子どもが心地よく生活できるために
	23		人事評価・面談研修	法人主催 人事評価研修「聴く」
	29		園長等運営管理協議会Ⅱ	※教育・保育の充実に向けて
9	6	中堅教諭等資質向上研修Ⅳ		特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援
	12		5年経験者研修Ⅱ	保育者に求められる保護者支援・子育て支援
	13		給食部会	
10	3、4		園内研究①②	テーマに基づいた個人研究
	3		保育士等研修会	自然にかかわることの大切さについて
	7	中堅教諭等資質向上研修Ⅴ		就学前保育施設におけるマネジメント
	8		幹事会	
	9		研究部会	
1	17		地区保育士会学習会	
	22	秋田県保育士会研修会		※多様な子どもたちの発達支援
	23	主任保育士部会研修会		防災対策
	25		施設長部会	
	30		人事評価説明会	法人人事評価についての学習
11	1	教頭主任等研修会Ⅱ		園運営の改善を図る学校（園）評価
	7		園内研修	テーマに基づく協議
	13		幼保小連絡協議会	授業参観 グループ協議
	14	新任特別支援教育コーディネーター研修会Ⅱ		保護者との関係づくり等
	15		5年経験者研修	※カウンセリングの技法を生かした乳幼児・保護者との関わり
	29		人事評価研修会	横浜での法人研修「質問する」
12	10		施設長部会	情報交換 防災について
	19		園内研究	テーマに基づく協議
1	17		園長セミナー	接遇について
	24~25		園長会	法人の経営戦略 等
2	12		研究部会	
	18		幹事会	
	20		主任保育士部会	アンケートにもとづく情報交換
	20		子育て支援ネットワーク会	今年度、次年度の活動について

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・キャリアアップ研修の履修計画的な推進
- ・法人研修の有効活用とEラーニング講座の精選

以上

# 令和 6 年度

## 阿久和保育園 事業報告書

### 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時保育事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 地域子育て支援事業

### 2. 保育園をめぐる状況

令和 6 年度は 4 月 1 日時点で園児数 82 名スタートすることができた。0 歳児は 6 名が入所し、昨年は 12 名に留めていた 1 歳児クラスは、進級児 6 名と新入児を 9 名の入所で、15 名受け入れることにした。2 歳児 2 名、3 歳児 1 名の入園と合わせて新入園児は予定していた通りの受け入れすることができた。社会的に保育園に対して 1 歳児の需要が高まっているので、わずかではあるが貢献することができたのではないかと思う。年度途中で、引っ越しのため退園するご家庭が 2 軒あり、3 名減となったが、すぐに入園希望があり、定員割れを起こすことなく維持できたのは良かった。年度途中で派遣職員が正規職員になったところで、0 歳児 3 名を受け入れできたことも良い結果となった。

園児の中には常に援助を必要とする園児も多数おり、また、見守り家庭も多いのは園児数と比例しており、いかにして今いる保育者数で良い保育を展開していくのかということとは大きな課題であり、保育の質の向上は不可欠だった。個々の保育スキルを上げていくことを目指し、研修に参加したり、園児のことや保育の内容についてなどを語り合う時間を何とか捻出し、できるだけ職員が前向きに子どもと向き合えるよう働きかけてきた。限りある時間の中で会議を持つことはなかなかできないのが実情だったので、日頃から対話を大事にしてきたつもりだが不十分だったと思う点もある。今後もしっかりと職員との連携を良くし、さらに信頼関係を構築していく必要があると感じている。

令和 6 年度は保育の質という点で、不適切な保育について皆で考え合った年でもあった。触れにくく、言いづらいことではあるが、見て見ぬふりをするのではなく、直接指摘しづらいところは園長や主任に相談してくれることも増え、徐々に乗り越えようとする姿があることを実感できたことは大きな収穫だったと思っている。「子どもに寄り添う」ということを、“子どものいのちを、どの子もわが子のように大事にする”と考えたり、「子どもの最善の利益」を子どもの幸せと考え、“その子の気持ちを深く理解して、その気持ちときちんと向き合い応答的に対話すること”と、園の保育者皆が同じように思っただけで保育できたら、目標である「誰に対しても思いやりのある温かい阿久和保育園」になれるのではないかと思う。

地域の子育て支援は横浜市の体制が変わり戸惑う部分もあるが、保育園としては、迷わずこれまで通りに大事にしてきた。熱量をもって取り組んでくれている職員のおかげでもあり感謝している。入園してなくても阿久和保育園が安心できる拠り所となれているのではないかと感じており、少数であってもどの家庭も大事にしてきた。これも阿久和保育園らしさだと感じている。

### 3. 重点施策

#### (1) 一人ひとりの子どもの人権を守る保育

子どもたちは保育者のことをとても好きで甘えたり、時にはわがままを言ったり、困らせることもあるが、そのすべてをおおらかに受け止めることを大前提として、お友だちと集団生活をする中で人とつながるためのルールを伝えていくことを求められていると思う。保育者の一方的な指導では学びにはならないということを分かっているながら保育者主体の保育になりがちな部分もある。子どもを大切にしており、愛情をもって保育にあたっているのは良く伝わってくるので、さらに保育者自身が豊かな言葉を使ったり、感受性を豊かにして感性を磨いていけば必ず求めている保育ができると思う。

#### (2) 保育をとことん語り合える職場風土作り

会議ではなかなか発言しづらかったり、話し合う時間が持てなかったりするのですが、時々小グループで話す時間を作ってみると話しやすい雰囲気もできていた。自分の意見を伝える抵抗感がなくなるよう手立てを考え、自信をもって自分の意見を言えるようになることを願っている。個々には子どもを良く見取っていたり、しっかりとした保育観をもっている職員も多く、一人ひとりの力を信頼して活かしていくようにしていきたい。

#### (3) ICT 活用の充実

コドモンの活用は順調に進んでおり、保護者と共に使える機能が増えている。今後の新しい取り組みとしては、ICT 活用によって質の良い業務軽減をしていく。7 年度はドキュメンテーションを使って、保育日誌と保護者にクラス活動の様子を伝えるといった 2 つの利点に取り組んでいきたい。

#### (4) 地域子育て支援の充実

瀬谷区内の子育て支援グループとの繋がり徐々にでき、参加している保護者に互いの施設の活動を紹介し合うなどして、共に子育て支援の輪を広げていこうという関係ができつつある。他施設と開催日が重ならないよう工夫するなどしながら今後は、活用できる地域資源を探り、積極的にコンタクトをとって園開放の際に専門家に来園していただくなど園だけでは足りない取り組みも展開していくことで、保護者の要望に応えていきたい。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
備品購入	園庭テラス設置 園児シューズ BOX 6 台	474,500 円	4 月に購入
	室内遊具 1 台 （組み合わせタイプ）	126,500 円	6 月に購入
	園庭遊具 1 式	110,000 円	7 月に購入 安価で購入できた為、予算を 下回った

未実施項目	件名	金額（単位：円）	未実施の理由（背景）
備品購入	室内遊具 1 台	220,000 円	2 台の購入を予定していた が、1 台のみ購入し、効率よ く使用することにしたため今 年は購入しなかった
	園庭遊具（一輪車）	200,000 円	子どもの様子から、今後検討 しながらの購入でも良いと判 断し今年は購入しなかった

#### 5. 部門別保育年度達成状況

##### (1) 乳児保育部門

- ・ 保育所保育指針に準じて作成した保育計画を基に保育を実施した。
- ・ 安心して自分を表現できる環境作りを心掛けて保育をしてきた。0 歳児は年度途中で 3 名の入園があり、定員 5 名に対して 9 名の園児を見てきたが園全体の保育者の協力もあり、人的にも安全で心地よい環境を作ることができた。1 歳児は昨年度より園児数が多いこともあり保育者間の連携を良くすることで苦慮する点もあったが話し合いをする機会を意図的に作り、振り返りをしたり、改善に努めるなどする中で、子どもたちは順調に成長することができたのではないかと思う。2 歳児も個別に配慮が必要な園児が多かったが担任の工夫で個々の育ちを大事に保育し、温かみのある保育ができていた。

##### (2) 幼児保育部門

- ・ 保育所保育指針に準じて作成した保育計画を基に保育を実施した。
- ・ 個別支援を必要とする園児が各クラスにおり、保護者との共通理解ができるように個別に懇談会を設けるなどしてきたことにより、ご家庭でも専門機関とつながったり、瀬谷区の相談に行くなどの行動を起こしていただき、徐々に支援体制ができてきた。3 歳児の支援児は 4 月から加配保育士が配置でき、その子に合った無理のない保育ができるようになった。それによって一年をかけて大きな成長が見られ、保育者の努力、協力が実を結んだ形となった。どのクラスも家庭支援の面で行政が関わっている家庭が何軒もあり、要保護児童対策協議連絡会にも加わってカンファレンスにも参加している。児童相談所との連携もあり、支援は多岐にわたり、多方面の配慮と連携が必要である。

- ・5歳児クラスでは学校との交流や地域の保育園との交流もした。個性を尊重しその子らしく成長することを大事にできたことがとても良かったと思う。年度の後半には友だちへの関心も深まり、協力して遊ぶことができるようになりクラスとしてまとまるなど成長する姿が見られたのはとても感動的だった。就学への気持ちも高まって、小学校へ送り出すことができた。

### (3) 給食部門

- ・安全で安心な給食提供を年間通して実施できた。
- ・季節を感じる献立や、地方の郷土料理、行事に合わせたメニュー等工夫を凝らした献立作成ができた。
- ・外国籍の園児を2名受け入れたので、宗教上ハラール食を摂ることになった。あらゆる配慮が必要でありできることに限度があったため、昼食は提供不可能と判断し各自お弁当を持参していただいた。おやつは提供可能なものを選んで提供している。
- ・クッキングは保育士と連携して子どもたちが喜んで楽しく作ることができ良い体験となった。

### (4) 地域子育て支援

地域子育て支援は、年間を通し定期的に園庭開放、園舎開放、赤ちゃん教室を行うことができた。また保育園の行事も体験していただくように、収穫体験や、ハロウィン、防災教室、クリスマス会、親子体操など多くの行事に参加を呼びかけた。遊びの提供も充実しており、制作、体操、読み聞かせなど親子で楽しんでいただいた。

## 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

### (1) 定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員(人)	5名	15名	15名	15名	15名	15名	80名

### (2) 全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	82	82	81	81	80	80	80	83	83	83	83	83	82

### (3) 職員数(令和7年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	16	0	1	1	1	0	20
嘱託職員	0	0	0	0	1	1	0	2
非常勤職員	0	2	3	1	0	0	1	7
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	2	0	0	0	0	2
							合計	31

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称 (実施した行事はすべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)	
4	1	入園、進級式		
	10	0歳児クラス懇談会		
	17	避難訓練		
	22	1歳児クラス懇談会		
	22	たけのこ掘り		
	23	2歳児クラス懇談会		
	25	4月生まれのお誕生会		
5	1	こどもの日集会		
	8	3歳児クラス懇談会		
	9	4歳児クラス懇談会		
	10	5歳児クラス懇談会		
	15	お弁当遠足	3～5歳児クラスがお弁当を持参して近くの公園に出かけ、自然の中で遊んだりお弁当を食べたりして楽しんだ。(3歳児は帰園して、無理なくお弁当を食べた)	
	16	避難訓練		
	17	幼児体操	佐久間はる先生をお招きし3～5歳児が思い切り体を動かしたり、運動用具の楽しみ方を学んだりして体操を楽しんだ	
	23	5月生まれのお誕生会		
6	27	うたと音を楽しむコンサート	オペラ歌手、ピアノ、バイオリン奏者の方3名によるコンサートを開催した。当日は阿久和キッズ、地域交流の親子の皆さん、園の保護者にも来園していただき園児のみならず、多くの皆さんに生の歌声や楽器による演奏を聴いていただいた。園からのリクエスト曲も取り入れてくださり楽しいコンサートとなった。	
	30	歯科検診		
	7	幼児体操		
	12	内科健診		
	13	避難訓練		
	14	年長児「らんらんデー」	瀬谷区の取り組みで、近隣の保育園の年長児交流。ほうゆう保育園の年長児と“ユートピア公園”にて交流し楽しんだ。お互いに原小学校に入学する園児が多いので良い交流となった。	
	20	6月生まれのお誕生会		
	21	幼児体操		
7	22	乳児クラス「親子ふれあいの会」	事業計画に中では7月に計画していたが6月の開催となった	
	26	防犯訓練		
	27	じゃがいも掘り	5月に予定していたが生育を見て6月に行った	
	5	七夕集会		
	11	キッズ防災教室	阿久和消防署の署員の方々に来園いただき、防災に関する話を聞いたり、煙体験や、消防服を着たり消防車の説明をしていただき、防災に関する多くのことを学ぶことができた。(阿久和キッズ、地域の親子参加)	
	19	幼児体操		
	25	7月生まれのお誕生会		
	27	夏祭り(乳児クラス)		
8	28	夏祭り(幼児クラス)		
	29	夏祭り (阿久和キッズ、地域の親子)		
	29	8月生まれのお誕生会		
	9	6	幼児体操	
		11	避難訓練	
13		幼児体操		
20		幼児体操		
25		防犯訓練		
26		9月生まれのお誕生会		
10	4	幼児体操		
	11	避難訓練		

	11	幼児体操	
	19	幼児クラス 運動会	
	23	10月生まれのお誕生会	
	24	さつまいも掘り	
	30	年長クラス 原小学校交流	原小学校へ入学する園児がいる近隣の小学校、幼稚園と共に小学校交流をした。
	31	ハロウィン	在園児、阿久和キッズ、ステラエデュケーション、地域の親子と共にハロウィンを楽しんだ。
11	6	内科健診	
	7	4、5歳児クラス バス遠足	若葉台公園まで園バスを利用してお弁当持参の遠足に行った。
	9	瀬谷っ子祭り	
	13	避難訓練	
	15	幼児体操	
	21	11生まれのお誕生会	
12	2	うたと音を楽しむコンサート	5月に行われたコンサートの2回目を開催した。この日も子どもたちが楽しむ姿が見られ前回同様、阿久和キッズ、地域の親子、保護者に参加していただき好評だった。
	5	歯科検診	
	6	幼児体操	
	12	避難訓練	
	19	12生まれのお誕生会	
	21	幼児クラス 発表会	
	24	お楽しみ会	
1	9	子ども新年会	
	15	避難訓練	
	17	幼児体操	
	23	1生まれのお誕生会	
	30	3R 夢（資源物分別体験）	
2	3	節分	
	3	5歳児クラス懇談会	
	4	4歳児クラス懇談会	
	5	3歳児クラス懇談会	
	6	2歳児クラス懇談会	
	7	1歳児クラス懇談会	
	12	0歳児クラス懇談会	
	12	避難訓練	
	13	クロネコヤマト交通安全教室	10月に予定していたが双方日程が合わず2月に行った。
	14	幼児体操	
	18	2まれのお誕生会	
26	幼児体操		
3	1	入園説明会	令和7年度に入園される方向けの説明会を開催した
	3	ひな祭り集会	
	7	幼児体操	
	15	卒園式	
	19	幼児クラス お別れ遠足	
	21	3月生まれのお誕生会	
	24	じゃがいもの種芋植え（5歳児）	
	25	卒園児 お別れ遠足	
27	お別れ会		

◎ほかに地域交流にも力を入れてきた

- ・毎月行っているもの
  - 園庭開放…4回
  - 赤ちゃん教室…2回
  - 園舎解放…2回
  - 親子体操…1回（体操の先生をお招きして）
  - 保育園リズム体験…1回
- ・保育園行事への参加

夏祭り、ハロウィン、お楽しみ会、収穫体験、保育園のリズム体験、体操の先生をお招きしての親子体操、水遊び、栄養士による栄養相談や離乳食の試食、看護師による発達相談など

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・オープンな保育園にしていく

保護者を積極的に保育園に入れていく行事を定着させていくことに抵抗感がなくなるように、また、日常の保育に自信がもてるよう職員同士で高め合っていく。

- ・域子育て支援

保育園への入園が低年齢化していることもあり、1、2歳児の参加者数が減少傾向にあるが、活動内容を工夫したり、他の子育て支援施設と協力し合って互いに紹介し合ったりするなどの繋がりを作っていく。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	研修名 (受講した研修はすべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	3		主任・副主任研修会	
			園内研修(嘔吐処理)	
5			園内研修(危機対応)	
	20			給食研修会
	25			法人：コミュニケーション研修 (発展編)
6	17		園内研修(AED操作訓練)	
	19			幼保小教育連携研修会
7		幼児教育(6月～9月)		ZOOMと集合研修
	10	保護者支援・子育て支援		ZOOMと集合研修
	6			メンタルヘルス研修会
	11			臨床心理士研修会
	19			障害児保育研修会(3区合同)
	23			保育所における自己評価ガイドライン研修会
	26			苦情解決研修会
	30			木育スクール
	30			ファシリテーション研修
8	21		子ども子育て支援専門講座	
	23			法人：人事考課研修
	23			自閉スペクトラム症の理解 (知的障害編)
9		障害児保育		ZOOMと集合研修
				姉妹園にて保育実習(9月～10月)
			園内研修(嘔吐処理)	8日～16日
	5			教育・保育施設長研修
	6			教育・保育施設長研修
	11			横浜女子短大研修
	13			組織マネジメント施設長コース
	18			横浜女子短大研修
19			子どもの人権に配慮した保育研修	

	20			5 区合同遊びの実践研修
10	1		園内研修 (不適切保育について)	11 月の虐待防止月間に合わせて
	3			食品衛生責任者講習会
	7			給食施設栄養管理研修会
	21			臨床心理士研修
	22			瀬谷区施設長研修
	29			自閉スペクトラム症研修
11	1		園内研修 (不適切保育について)	11 月の虐待防止月間に合わせて
	5			公開保育（中屋敷保育園）
	9			法人：コミュニケーション研修
	12			公開保育（瀬谷第 2 保育園）
	13			横浜女子短大研修
	14			公開保育（二ツ橋保育園）
	15			給食施設栄養管理研修会
	16			法人：コミュニケーション研修
	21			インクルージョン保育を考える
	22			虐待防止講演会
	25			臨床心理士研修
	28			乳幼児保険研修会
29			法人：人事考課研修	
12		マネジメント		ZOOM と集合研修
	16			食物アレルギー対応マニュアル研修
	26			園内研修（嘔吐処理）
	27			園内研修（嘔吐処理）
1		保健衛生・安全対策		ZOOM と集合研修
	1~16			園内研修（嘔吐処理）
	10			子育て支援研修
	28		園内研修（嘔吐処理）	
2		保護者支援・子育て支援		臨床心理士研修
				ZOOM と集合研修
	13		園内研修 (ドキュメンテーション)	
3				教育・保育施設長研修
	26		園内研修（救急蘇生法）	

(2) 令和 7 年度に向けた検討事項

- ・木育を始めていくにあたり、園の子どもたちに合った取り入れ方を探り、研修を重ねながら、保育者自身が楽しんで木育に取り組めるように考えている。
- ・e ラーニングを活用した園内研修を行うことができなかつたので、研修を進める担当を決めるなどして職員自らが計画、実施する体制を作っていく。
- ・瀬谷区内の保育園の公開保育の開催園が 7 年度は私立園にも広がっていく。まずは公開保育に参加し、いずれは自園でも公開ができるよう研鑽を積んでいきたい。
- ・引き続き、園児や保護者にとって優しく温かい保育ができる保育園になるよう、不適切保育とはどういう行為なのか職員間で学び意見交換できるように学んでいく。

以上

# 令和6年度 西柴保育園 事業報告書

## 1. 事業内容

・保育事業 ・一時預かり事業 ・延長保育事業 ・地域子育て支援事業

## 2. 保育園をめぐる状況

・横浜市内では統計的に一番未就園児が少ない区であるが、職員の日々の丁寧な子ども達への関わり、日常的な保護者の心に寄り添った関わりや支援、ノンコンタクトタイムの意図を理解し合いすすめるチーム保育の努力によって、今年度も定員を満たすことが出来た。

自園の園児のみならず、地域の未就学児を持つ家庭に向けての木育をはじめとしたイベントなども年間を通じて開催し、地域のお祭り、公園清掃など園児を中心に広く地域の方々にも西柴保育園を知って頂くきっかけづくりを担当者中心に継続してきた。

在園児向け、地域向けに職員の地道な丁寧な取り組みの積み重ねが結果的に今年度も定員を超え弾力化に協力出来る事へとつながった。

## 3. 重点施策

### (1) 木育活動の充実

秋田鳥海山おもちゃ美術館への木育研修の参加や、川合先生による木育研修などをきっかけに、職員の中にも、木育についての学びが浸透しつつある。

子ども達は日常の造形活動から始まり、木を使用した作品展での個人作品などへの木や自然物の活用が今年度は見られた。

日常のあそびのなかにも、年齢を超え加工された木片などを利用してのあそびも展開している。

### (2) 木育による地域貢献

これまでの園内の園児向けの木育活動から今年度は、OISCAさん、川合先生にもお力をお借りし西柴地域の子育て世代の方々にも西柴における木育活動を取り入れた、クラス内異年齢での保育活動の基盤となる、気に触れる事の楽しさや、木の相乗効果による情緒の安定、非認知能力(EQ)の育ちなどの講演と実践を体験する機会を設けた。

地域からの参加者の方は少人数ではあったが、今後も木育による地域貢献の展開を継続しこころみていく。

### (3) チーム保育への意識

数名の新たな経験者のメンバーを迎えての保育開始の1年間であった。

それぞれにキャリアがあり、保育者としての力を十分に備え、法人の理念・西柴の目指す保育を理解しての入職でもあり、保育者が日々の保育を振り返り語り合い次に進めていくノンコンタクトタイムを有効活用した保育を振り返りながら、明日の保育に繋げていく意図は理解できているようである。

実践については、現在試行錯誤を繰り返しながらも現場でのチーム保育を意識しての一人ひとりの保育者が意識し取り組んでいる1年であった。

### (4) 生き残る園を目指すことへの模索

今年度も幸いにも定員を満たす事の出来たが、今後の少子化の厳しい現実の中で、保護者が選んでくださる園であり続けるには、日々の豊かなあそびの中にある、学びの継続や、保護者支援、地域貢献などの社会福祉法人の社会的役割にも目を向け、チーム一丸となり、語り合い協力しあい、保育を探求し続けていく事を大切であると認識し進めている。

## 4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	研修費	166,000	秋田への木育研修 e ラーニング 4 枠 ID 代他
備品購入	1 歳児室用木育環境 パーテーション一式	213,400	
備品購入	幼児用木育玩具一式	392,150	ヒノキ卵、つみきプール 枠、ツインスロープ

未実施項目	件名	金額（単位：円）	未実施の理由（背景）
施設整備	可動式日よけ設置		R7 年度以降に見送り

## 5. 部門別保育年度達成状況

◎乳児保育部門…アタッチメントを大切に、こども達の内なる思いを押し量り、こども達の不快な泣き声や、要求の聞こえない、こどもの興味とところに寄り添った保育の実践を行っている。

◎幼児部門…異年齢保育を中心に保育者に見守られ、共感してもらいながら日々の生活の中で仲間との関わりを通じ、様々な活動に興味関心を示し取り組むことができた。木育活動、造形活動を積極的にこども、保護者を巻き込んで進めている。

## 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

### (1) 定員数

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
定員（人）	6	13	13	13	13	14	72

(2)全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	70	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72

(3)職員数(令和7年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	0	1	1	1	0	19
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員	0	3	3	0	2	0	1	9
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
							合計	28

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称 (実施した行事はすべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)
4	1	入園・進級を祝う会	
	23	避難訓練	
	23	誕生会	
	25	こどもの日の会	
5		バケツ稲田植え	
	15~22	懇談会(0~5歳児)	
	8		地域向け育児講座
	28	誕生会	
	28	春の健康診断	
6	24	避難訓練	
	20	茶道教室(すみれ)	茶道教室(すみれ)
	11~13	乳児クラス親子ふれあい遊びつどい (0歳児、1歳児、2歳児)	
	14	歯科検診	
	25	誕生会	
	24		小学校交流
	26		地域向け育児講座
7	10~13	土砂災害想定避難訓練	
	5	七夕のつどい	
	11		こども大型絵画プロジェクト
	18	茶道教室	
	19	すいかわり	
	20		木育ひろば
	25	避難訓練	
	27	夕涼み会	
30	誕生会		
8	2	おまつりごっこ	
	27	誕生会	
	27	避難訓練	
9	2	防災訓練	
	13	おだんごづくり	
	17	15夜の会	

	19		茶道教室
	24	誕生会	
	27		パパ講座
10	5	運動会	
	17	茶道教室	
	22	秋の内科健診	
	23		地域向け育児講座
	29	誕生会	
	22	避難訓練	
	30		ハロウィンパーティー
11	6		キラキラかなざわっこ年長3園交流会
	12	やきいも会	
	13		小学校交流
	14	茶道教室	
	21		小学校交流
	26	誕生会	
	25	避難訓練	
	7	発表会	
12	11		消防署立ち合い訓練
	12		ハッピーデー
	13	歯科検診	
	17	誕生会	
	11	避難訓練	
	25	クリスマス会	
1	15		地域向け育児講座
	17	お正月遊びの集い	
	22	誕生会	緑のきっかけ出前講座
	26	誕生会	
	27	避難訓練	
	30	茶道教室	茶道教室
	31	節分の集い	
2	1		木育ひろば
	6		就学前幼児交通安全指導
	7		パパ講座
	13		茶道教室
	15		入園説明会
	19		地域向け育児講座
	12-19	クラス懇談会	
	25	誕生会	
	13	避難訓練	
	26-28	作品展	
3	3	おひな祭りの会	
	7	避難訓練	
	13		茶道教室
	15	卒園式	
	18	おべんとう遠足	
	19	卒園遠足	
	11	誕生会	
24	お別れ会		

(2) 令和7年度に向けた検討事項

幼児クラスの運動会の日程について、熱中症、近隣小学校の実施日程等を総合的に判断し実施日について、又天候による予備日についての検討が必要である。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	研修名 (受講した研修はすべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	9		園内研修	ドキュメンテーションについて
	16		新人研修	
5	14		園内研修	安全保育について
	24		法人研修	人事評価
	25		法人研修	
6	11		園内研修	安全保育
	10	幼児保育		
	10	障害児保育		
	14	保護者支援・子育て支援		
	14	食育・アレルギー		
	18			保育実践乳幼児の性と性教育
	20		こどもの人権研修	
7	9		園内研修	法人主任・副主任研修
	23			安全保育・みずあそび・プールあそび
	30			保育所に於ける自己評価がドライン
8	19		園内研修	OISCA 川合先生主催木育研修
				危機管理
	20			小児救急法研修
	30	障害児保育		
9	29			指導計画の作成方法研修
	4	乳児研修		
	10		園内研修	誤飲・誤嚥
	4	保護者支援・子育て支援		
	4			園児の健康管理研修
10	7			木育研修秋田
	1	障害児保育		保育の質の向上組織マネジメント研修
	1	食育・アレルギー研修		
	7			造形研修
	15		園内研修	横浜保育教育宣言とは
	24	保健衛生・安全対策		
	28	保護者支援・子育て支援		
11	1	組織マネジメント研修		運動器の障害の理解
	12		園内研修	人権
	26			幼保小連携研修
12	10		園内研修	遊びの中の学びとは
	10			横浜保育教育宣言研修
1	8		園内研修	発達をとらえたこどものみかた
				給食施設栄養管理研修会
	23			離乳食研修会
	28	マネジメント研修		
2	12			横浜市 性暴力防止研修
	18		園内研修	次年度に向けて1
	25	マネジメント研修		
3	4			
	15		園内研修	次年度に向けて2

### (2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・継続的な計画に基づいた若手職員のキャリアアップ研修への参加。
- ・参加した研修後の、ノンコンタクトタイム、園内研修を利用しての充実した共有とフィードバック。
- ・看護師の研修参加

以上

# 令和 6 年度

## 上永谷西保育園 事業報告書

### 1. 事業内容

・ 保育事業 ・ 一時預かり事業 ・ 延長保育事業 ・ 地域子育て支援事業

### 2. 保育園をめぐる状況

今年度は、業務改善として職員アンケートを実施していただき、一人一人の声を聞く機会を設けていただいた。最も多く上がった意見である環境面の充実化として、遊具の購入や安全対策を施したことで安全に伸び伸びと子ども達が遊べる環境が整ったと感じる。園庭の大型遊具はシンボルにもなり園庭開放に訪れる地域のお子さんも以前に比べ増加し、園児との交流や育児相談等、地域のお子さんが楽しい時間を過ごせる場となった。

全ての子ども達が将来に渡り、大人との関りや経験により心が育ち、様々な力が養われていくことの大切さに重点を置き、子どもの自主性や自発性を引き出せる丁寧な関りを心掛け職員は保育に携ってきた。保護者におかれても、日々の子どもの姿から子どもの育ちに対する理解が深まっていたと感じる。今年度の取り組みとして、保育の情報を発信し保護者に共感していただく事を目指し、保護者給食試食会や、保育の様子を撮影する機会も大幅に増やし保護者へ公開したことで安心感が得られたように感じる。

近年の温暖化による気温上昇により、プールや水遊びなどの夏の活動の実施が難しい。また、運動会の日程に関して保護者より多数意見が出た事もあり、次年度は 11 月の開催へと変更した。保育内容や行事の振り返りは勿論、保護者から寄せられた意見等も園全体の課題として職員で慎重に話し合いを重ね決定した。今後も職員一人一人がしっかり考え、自身の意見として発言、また相手の意見を理解し、皆でより良い園作りを目指す。

### 3. 重点施策

#### (1)職員の業務負担軽減、保護者支援

ICT 導入後、職員の業務に掛かる負担は軽減されたと感じる。内容を見直し、更に活用の幅を広げ業務の効率を上げ、心にゆとりが持てるよう改善していきたい。

また、保護者の負担軽減としてオムツ、お尻拭き、エプロン、口拭きのサブスクを導入する。0.1 歳児クラスは多くのご家庭に利用いただいております、保護者の負担軽減は勿論、職員の業務軽減にも繋がっている。

#### (2)園内研修、外部スキルアップ研修を通して保育の質の向上を目指す

職員の雇用を増やした事で事務時間や学びの時間の確保が出来た。

各々が学びたいと思う単元を学び、個々のスキルアップとして活用できた。  
次年度も可能な限り学びの時間を確保することを目標としていく。

### (3)地域子育て支援の核となる活動を展開

一時保育について、定期的に需要はあるが新規の利用がなく、次年度は受け入れ枠も減る為、利用が減る事が考えられる。地域子育て支援として離乳食試食会を開催し、園の離乳食の提供方法や味付けなど実際に試食していただく機会を設けた。交流保育や試食会等から気軽に訪問できる園として地域子育て世代の支援を今後も計画、実施していく。次年度は連携園との交流も視野に入れ進めていく予定である。

### (4)安心安全の保育の実践

リスクを案じて活動に制限を掛け過ぎ、子どもの思考や学びを大人が止めないよう、非認知能力が高まる「安心安全な保育とは何か」を過去の事故や事件などを基に考え、前向きに取り組みながら環境作りや保育の内容を決定してきた。その中でも、気候の変動に伴う保育の内容や行事の計画には特に難しさを感じている。次年度も同様の状況になる事が予測されるため、安全に過ごせる方法を引き続き検討していく。

## 4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	環境整備	198,000	砂場遮光テント 園庭レンガ研り（5月）
施設整備	園舎外壁保護 ニス塗り施工	264,000	園舎外壁木目 ニス塗り（9月）
施設整備	園庭安全対策 コンクリート面保護	430,000	鉄棒下マット設置、コンクリート部分の保護（11月）
備品購入	園庭大型遊具	1,400,000	アスレチック 滑り台設置（12月）

未実施項目	件名	金額（単位：円）	未実施の理由（背景）
	無し		

## 5. 部門別保育年度達成状況

### (1) 乳児部門

0歳児：子ども一人一人の欲求を受け止め、家庭的な保育を実施し、保護者と連携しながら日々の保育や子どもの様子を伝えることで成長を共に喜び合い丁寧な保育が行えた。

1歳児：職員間で連携を取りながら一人一人の生活リズムで食べたり、排泄したり、眠ったりしながら過ごすことで園生活に慣れ、保育士がそばにいることに

安心し、自分の好きな遊びや玩具を見つけて遊んだり、園内や戸外で保育士と一緒に探索活動を楽しむことができた。

2歳児：保育者に見守られながら自分のしたい遊びを楽しみ、また保育者の援助を受けながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとするなど、基本的な生活習慣が心地よい感覚として身に付き、実践する姿が見られた。

## (2) 幼児保育部門

3歳児：保育士や周りにいる大人達との信頼関係の下、生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、安心して過ごすことができた。友達同士での関わりは見守り、必要に応じて子どもの思いを代弁するよう努めた。また、相手に自分の思いとは違う思いもあるということを伝えていった。草花や小動物に関心を持ち、自然を通して主体的に友達と楽しむことができていた。

4歳児：保育士や周りにいる大人達と築いた信頼関係を基盤として、自分で生活の場を整え、その必要性を理解し、基本的な生活習慣の自立を促す。四季を通して、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ、草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝え合ったりするなど集団遊びへの展開も見られた。

5歳児：行事では、クラスで話し合いの場を設け目標を明確にすることで、友達と協力する力や協調性を養えるようにした。1日の流れや始まりと終わりの時間を、時計を使って伝えることで、時計を意識して生活できるようになった。また、食事や作業を時間内に済ませようとする意識にも繋がり、基本的な生活習慣の確立を目指すことができた。保育者が手本となり、一人一人の良い所を言葉にして伝え、クラスの雰囲気が明るくなるよう心掛けた。

## (3) 給食部門

- ・離乳食の取り組みを丁寧に行い、保護者と連携し個々に合った対応
- ・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
- ・栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫の実施
- ・アレルギー対応の実施
- ・食育活動を計画、実施し、園児との交流を深める
- ・保護者対象に給食を子ども達と食べていただく試食会を実施

## 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

### (1) 定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員(人)	2	15	15	16	16	16	80

### (2) 全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数

全園児数(人)	81	81	81	81	81	81	81	81	82	83	83	83	82
---------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(3)職員数(令和7年3月31日時点) (単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	16	0	3	0	1	1	22
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
非常勤職員	0	7	2	1	0	0	0	10
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計								33

7. 実施行事

月	日	名称 (実施した行事はすべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)
4	1	入園・進級の日	
	23	懇談会(5歳)	
	24	懇談会(4歳)	
	25	懇談会(3歳)	
5	14	バス散歩(5歳)	
	15	バス散歩(3・4歳)	
	21	懇談会(2歳)	
	22	懇談会(1歳)	
	29	園児健康診断	
6	4	クッキング(5歳)	収穫したジャガイモで芋餅を作る
	6	園児歯科検診	
	11	クッキング(4歳)	収穫したジャガイモでマッシュポテトを作る
	24	水遊び・プール開き	
7	5	七夕	
8	1	スイカ割り	
	6	クッキング(5歳)	ゼリーバイキング
	29	おみこし	
	30	夏祭り	
10	16	園児健康診断	
	19	運動会(2~5歳)	
	23	バス遠足(5歳)	
	31	ハロウィン	
11	6	バス遠足(3歳)	
	7	クッキング(5歳)	収穫したさつま芋でスイートポテトを作る
	8	バス遠足(4歳)	
	8	保育参加(1歳)	保護者と一緒に製作や運動を楽しむ
	14	クッキング(4歳)	収穫したさつま芋でスイートポテトを作る
	21	合同防災訓練	
	28	歯科検診	
12		給食試食会(12月~1月)	保護者に給食を試食していただく
	14	生活発表会(3~5歳)	
	25	クリスマス会	
1	10	お正月遊び	
	17	懇談会(5歳)	
	30	節分	
	31~	園長との食事会(5歳)	少人数毎に園長と食事会を楽しむ
	31	保育参加(2歳)	保護者と一緒に製作や運動を楽しむ
2	2	節分	

	5	懇談会（4歳）	
	6	懇談会（3歳）	
	7	懇談会（2歳）	
	14	懇談会（1歳）	
	25	バスドライブ（1・2歳）	
	26	バス遠足（3歳）	
	28	バス遠足（4歳）	
3	3	ひな祭り	
	5	入園説明会	
	6	お別れ遠足（5歳）	
	13	お別れ会	
	15	卒園式	

＜令和7年度に向けた検討事項＞

夏の遊び（水遊び、プール）が温暖化に伴い実施困難になりつつある。実施方法や時間など検討しているが毎年課題である。

## 8. 研修報告一覧

月	日	研修名 (受講した研修はすべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	5		保育士基本マナー研修	新任保育士対象
	6		園内研修	散歩時の安全・HP 写真掲載
	18		園内研修	コミュニケーション 事故防止・事故対応
5	9		育児支援見学	姉妹園での地域交流保育の見学
			園内研修	eラーニング・自己学習 水遊び時の写真撮影について
	18		コミュニケーション研修	法人研修
	23		園内研修	不審者対応（施錠について）
	24		人事評価研修	法人研修
	25		コミュニケーション研修	法人研修
6	15		園内研修	安全管理・危機管理
	18		心肺蘇生研修	消防職員による CPR/AED 研修
	21		園内研修	合同保育について
7	4		給食施設栄養管理研修	子どもの窒息・誤嚥を防ぐ
	6		メンタルヘルス研修	法人研修
	24		食物アレルギー対応マニュアル研修	アレルギーの疫学と実際
	30		園内研修	ヒヤリハットの記録について
8	2		幼児教育講座（3歳）	幼児の生活と一人ひとりの 発達の状況に応じた指導
	7		わらべあそび研修	わらべうた遊びと子どもの発達
	8		保育実践分野「手あそびうた」	保育の表現活動としての 手あそびうた
	9		中堅保育者口座 A	楽しく創るリトミックの魅力
	21		子育て支援専門講座 A	保護者に対する相談援助の技法と 援助者の自己覚知
	22		園内研修	コミュニケーションについて
8	23		人事評価研修	法人研修
	27		幼児と「環境」	身近な環境に関する領域 「環境」についての理解

	30		医療的ケア研修	新生児医療と在宅ケア
9	11		施設長講座 A	子育て・親育て 「これからの保育が目指すもの」
	25		主任・リーダー保育者講座 D	組織マネジメントの理解と保育現場におけるマネジメントのあり方
10	1		園内研修	不適切保育について
	23		療育セミナー	配慮の必要な子の保育の工夫
	28		園内研修	監査内容の振り返り
11	11	幼児教育		
	12	障害児保育		
			よこはま港南地区療育センター オープンディ	療育センターの概要と施設見学
	13	保護者支援・子育て支援		
	15		ハローワーク出前講座	障がい者と働くことについて
	18		西部エリア オレンジ会議	地域の子育て世帯と虐待の現状
	19	乳児保育		
	21		港南区実地研修	区内の園の保育を見学する
	22	保健衛生・安全対策		
	27		発達障害児保育支援 コーディネーター育成講座	インクルーシブ保育 気になる子どものアセスメント
		保育実践分野「リトミック」	幼児対象のリトミック	
29		人事評価研修	法人研修	
12	5		園内研修	来園者対応・安全管理 不適切保育について 職員コミュニケーション
	19		園内研修	固定遊具の安全管理 保護者対応・不適切保育について
1	9		園内研修	保護者支援 職員コミュニケーション
	17	保健衛生・安全対策		
	21	食育・アレルギー対応		
	23		園内研修	保育中の受診について 研修・自己学習について
	29		臨床心理士研修	心の仕組みと保護者対応
2	3	障害児保育		
			小児医療研修	小児の保健衛生・感染症対策
	10	保護者支援・子育て支援		
	17	乳児保育		
	21	幼児教育		
3	4		給食施設栄養管理研修	給食施設における食事計画
	10		園内研修	園目標から考えられる子ども像 事故報告・検討・対応
	26		園内研修	事故防止・緊急時対応 守秘義務について

<令和7年度に向けた検討事項>

全体での園内研修時間の確保が難しく、会議の中の時間を利用し話し合う機会を設けた研修として学びの時間を設定しつつ、子どもや保育について語る時間を取り込めるよう主任、副主任と共に進めていく。また、知識として習得すべき内容は積極的に取り入れていく。

以上

# 令和6年度 阿久和キッズ 事業報告書

## 1. 事業内容

- ・小規模保育事業
- ・延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

- ・園児の定員は19名と常に確保できている。

今年度は統括リーダーを配置し、リーダーシップを取り、話し合いを多く持ち、職員の意見等を吸い上げながら安心、安全の保育を進めていくことができたと感じている。

産休明けの職員が5月から加わり、体制的にクラス会議や事務時間、ノンコンタクトタイムを設けることができ、保育について語り合う時間を確保することができた。キャリアアップ研修やeラーニング等も積極的に受講することができたように感じる。

また、姉妹園との交流で「夏まつり」について、計画の段階から参加し、阿久和保育園の職員の方と協力して実行、「せやっこまつり」にも計画段階から参加し、地域の育児支援、地域交流といったことにも携わることができた。また、他園の先生方との交流、意見交換をし、有意義な時間を持つことができた。少子化の進む中、地域に根差した、地域に必要とされる園を職員一同協力して進めていきたい。

## 3. 重点施策

### (1)乳児保育の質の向上

「はじめの100か月の育ちビジョン」にもあるように子ども達にとって一番大切な時期を過ごす場所として、一人ひとりに寄り添い、アタッチメントを形成し、安心できる場所となるようリーダーを中心に進めた。また、恵まれた自然と触れ合える場所でたくさんの経験をし、主体的に遊び、保育士自身も楽しんで過ごせるよう工夫した。

### (2)職員間の連携と協力

ノンコンタクトタイムやクラス会議等で保育について語り合う時間を多く持つことができたので、対応や保育士同士の考えを共有することができ保育にいかすことができたのではないかと思う。統括リーダーを置くことで、日常の保育の些細な事や困りごと等も共有することができた。

### (3)地域で必要とされる園

今年度は、「せやっこまつり」の実行委員会に参加し、他園との交流を持つ中で地域の育児支援に携わることができた。また、連携園の触れ合い動物園に参加させていただき、実際に動物にえさをあげたり、触れたりする経験をした。姉妹園では、「夏まつり」を一緒に行ったり、園庭の遊具で遊ぶ機会を多く持つことができた。瀬谷区の公開保育に参加し、他園の工夫や環境設定、困りごとなどを共有することができ参考になった。

## 4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	保育室マット	201,200	7月

未実施項目	件名	金額（単位：円）	未実施の理由（背景）
	なし		

## 5. 部門別保育年度達成状況

### ・乳児保育部門

清潔で安心できる場所としては、職員で協力して環境設定を進められたと感じる。次年度は、子どもたちが主体的にじっくりと遊び込める環境を環境係を中心に、話し合っていきたい。

### ・給食部門

今年度は卵アレルギーのある児に対して、卵を使用しない献立を立て「なかよし給食」として1年間進めた。

アレルギー児に対する対応（保護者とのアレルギー面談、トレーを個別で使用、テーブルを別にする、ミーティング、朝、提供時の確認等）は、全職員で確認し行った。懇談会でのおやつを試食を行った。次年度は、保育参加時に希望者（有料）に給食の試食をしてもらうよう計画している。

## 6. 定員数・全園児数の平均・職員数

### (1)定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員（人）	6	6	7	—	—	—	19

### (2)全園児数の推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

## (3)職員数(令和7年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	6	0	0	0	0	0	7
嘱託職員	0	1	0	1	0	0	0	2
非常勤職員	0	2	0	0	1	0	0	3
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計								12

## 7. 実施行事

## (1) 実施行事一覧

月	日	名称 (実施した行事はすべて)	内容 (事業計画にない行事のみ)
4	1	入園・進級を祝う	
	17	避難訓練	
	24	4月生まれ誕生会	
	23~25	クラス懇談会	
5	2	こどもの日の会	
	22	避難訓練	
	23	5月生まれ誕生会	
	27	オペラコンサート	うたと音を楽しむコンサート 阿久和保育園にて
6	7	歯科健診	
	12	内科検診	
	26	6月生まれ誕生会	
	27	じゃがいも掘り	
	13	避難訓練	
7	5	七夕の会	
	12	避難訓練	
		7月生まれ誕生会	
	25	すいかわり	
8		水遊び	
	27	夏まつり	
	29	避難訓練	
9	12	避難訓練・引き取り訓練	
	19	9月生まれ誕生会	
10	22	避難訓練	
	23	10月生まれ誕生会	
	24	さつまいも掘り	
	31	ハロウィーン	
11	1	歯科健診	
	6	内科検診	
	11	避難訓練	
	30	親子で遊ぼう会	
12	2	オペラコンサート	うたと音を楽しむコンサート 阿久和保育園にて
	11	移動動物園	
	12	12月生まれ誕生会	
	24	クリスマス会	
1	8	こども新年会	
	22	避難訓練	
	23	1月生まれ誕生会	
2	3	節分の会	
	4~6	クラス懇談会	
	20	避難訓練	

	27	2月生まれ誕生会	
3	3	ひなまつりの会	
	7	お別れ遠足	
	14	卒園式	
	18	3月生まれ誕生会	
	27	避難訓練	

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・木育ひろばを初めて開催する。

小さな子ども達が保護者の方とどんな参加の仕方になるのか、どのくらい集中して遊ぶことができるのかとても楽しみである。阿久和保育園と一緒に開催するので協力して行っていきたい。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	研修名 (受講した研修はすべて)		研修内容 (事業計画にない研修のみ)
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	8		園内研修	
5	18		コミュニケーション研修	
	22		救急・防災研修	
	30		園内研修	
6	18		園内研修	
7	6		メンタルヘルス研修	
	23		自己評価ガイドライン	
8	2		主任保育者講座	
	8		保育実践(手あそび)	
	29.30		保育スーパーバイザー	
	23		横浜保育・教育宣言	
9	4		保育実践(木を使って)	
		乳児保育 食育、アレルギー対応 保護者、子育て支援		
10	3		事故防止、対応研修	
	17		衛生管理	
	9		主体的保育を学ぶ	
11	5		公開保育	中屋敷保育園見学後ディスカッション
	13		園長研修	
		障害児保育		
1	14		公開保育	二ツ橋保育園見学後ディスカッション
	7.8		初任保育所長研修	
1	22		主任研修	
	2	19		園内研修

(2) 令和7年度に向けた検討事項

- ・処遇改善に伴うキャリアアップ研修を優先的に受講してもらう。
- ・保育士それぞれが自分の保育を振り返り、保育の質向上に向け興味がある、ここが足りないといった研修を積極的に受講する。  
そのために体制を整えていく。
- ・第三者評価を次年度受けるにあたり、現時点の保育を振り返り見つめ直し、保育の質の向上に繋げていかれるように研修等実施していく。

以上